

吉田 ゆみこ 議員 (ネット)



新型コロナウイルス感染症の影響で仕事を失うもしくは失う可能性のある被雇用者への支援について

- 就業相談センターや若者等就業支援事業での相談数、雇用につなげることができた数は？
今年3月から5月で就業センターでの相談が86件、就職が63件、わかもの・女性就業相談コーナーでの相談は56件、就職は4件。
仕事を失った人への直接の支援に区として取り組むべき。
失業者等への直接支援について、個別給付等は考えていない。
ケアラー支援について
介護保険計画のアンケートの結果とダブルケアラーへの支援は？
家族介護は全体の6割、その内子育て中の介護者は約1割。在支が行う総合相談で本人や家族の状況を把握、適切な支援を行っている。

ヤングケアラーの具体的な支援は？

- 本来守るべき子ども権利を守るという視点で福祉部門と要保護児童対策地域協議会等子ども部門と連携、多層的に支援を行う。
ケア者支援条例への区の見解は？
家族介護者支援は各計画の中で取り組み、今後も当然に推進していく。区として条例は考えていない。

羽田新ルートについて

- 国交省が「首都圏での騒音の共有」ということを急に持ち出したことについて説明を求めると、改めて国に対して説明を求めると。
区として当面の就航需要の減少を踏まえ都心低空飛行ルートの運用は中止すべきと国に求めるべき。
5月20日区長が大臣宛に一層の騒音軽減策の推進や新ルートを固定化しない取組について要望した。
障害児者総合支援施設の運営について
本施設は当初に立ち返り共同体による指定管理者制度の運営が、現状に合わせ区直営で建物管理、事業は個別に業務委託契約とすべき。
指定管理期間満了後は、指定管理者制度を活用、建物管理を含む一体的な管理運営で公募をする予定。

こんの 孝子 議員 (公明)



新型コロナウイルス感染症に関する対策について

- 第2波への準備のため保健・医療の体制強化が必要。保健所の有する権限や責務、体制強化についての考え方や取組について聞く。
保健所は、感染症予防法に基づき蔓延防止に対応。職員の専門性を向上させ、必要に応じ応援職員を配置する等、確実に対応していく。
コロナ禍を踏まえた防災・減災対策について
区民避難所におけるコロナ感染防止対策のために、避難先としてホテルや旅館等一件でも多くの避難先を確保すべき。
協定締結しているホテル・旅館組合には31施設が加盟している。できる限り多くの避難先を確保するため協定先の拡充と連携に努める。

コロナ禍を踏まえた熱中症対策について

- 児童生徒が安全に通学できるようクールネックタオルの配布を提案。
物品の配布は考えていないが、健康状態に注意を払い、安全な登下校に配慮する。
今夏は例年以上の対策が必要。予防の注意喚起を行うとともに、区民が具体的に取組める熱中症対策の促進策を検討すべき。
区民の皆さんの経済的負担が少なく取組みやすい予防促進策について検討する。
障がい者支援について
障がい者の授産施設において、マスクを作製している。区が優先調達品として活用し、障がい者の社会貢献活動をアピールすべき。
優先調達品として活用も検討し、区ホームページに掲載する等、販売促進を支援する。
ヘルプマークとカードを一緒に所持できるように、カードを収納できるバッグに装着できるヘルプマークを施したストラップ式のカードケースの作製を提案する。
提案を含め障がい者団体のご意見を伺い、当事者にとって利便性の高いカードとなるよう作製する。

大倉たかひろ 議員 (自・無)



新型コロナウイルス感染症対策について

- しながわ活力応援給付金の寄附への活用について現在の検討状況は。
ガバメントクラウドファンディング等の活用を検討している。
避難所での二次感染回避のため、感染者や症状のある方等の居住区分を分けるなど、区の対応方針は。
区分して避難スペースや動線設計けることを、防災区民組織本部長である町会長等に周知している。
ペット飼育主の感染を想定し、ペットの預け先確保の事前準備について周知を行うべき。
環境省や都がホームページで預かりの相談先を紹介している。
区民の待合スペース等、区役所内における3密回避の取組は。
戸籍住民課では、待合スペースの

教育について

- 全ての児童・生徒、教員に対してタブレット端末が配備されるが、機種を選定、配布スケジュールは。
多様な学習コンテンツに対応する汎用性を見据え検討しており、年度内に確保できるよう取り組む。
タブレット端末を今後どのように教育に役立てていくのか。
児童・生徒の学習履歴が記録され、教育と学習の達成度を共有できる特性を指導に生かしていく。
新型コロナウイルスによる臨時休業の影響をどのように埋めるのか。
夏季休業日の短縮や1日の授業時数を増やす工夫等で確保していく。
環境対策について
今後どのようにして再生可能エネルギーを普及させていくのか。
これまで太陽光発電システムの設置助成を実施してきた。引き続き普及のためのPRに努める。
CO2排出ゼロに向け、品川区もプラスチック削減方針を策定しては。
環境方針を改定し、使い捨てプラスチックの使用削減等、環境保全等に努めることを明記した。

松本ときひろ 議員 (無所属)



新型コロナウイルス感染症第2波を想定した区の会議運営、在宅勤務の在り方について

- クラスター化防止の観点から、緊急事態宣言下においては、区の重要会議はオンライン会議を原則にしておくべきではないか。
現在の利用効果などを見ながら検討していく。
脱印鑑と区民目線の行政手続きについて
申請書等の押印見直し指針を定め、脱印鑑に向け全庁的な取組が必要と考えるが、区の見解は。
引き続き見直しを進め、署名による代替についても取り組んでいく。
区民とより積極的なコミュニケーションを図るための区長のツイッターアカウント開設について
区長もツイッターアカウントを開

区施設の見える化について

- 区施設の見える化について
設置されているかが。
区長がツイッターにより区民とやり取りすることは考えていない。
学校における熱中症対策について
各区立学校に対し、授業中の水分補給を含め校内での児童生徒の水分補給の方針を示すべきではないか。
安全な学校生活を送れるよう指導していく。
商店街における3密対策、買い物困難者支援について
新型コロナウイルス第2波に備え、区が商店街振興組合等と連携し、商店街が混雑する時間帯を区民に周知する方法を検討すべきではないか。
商店街連合会等と連携しながら、どついつつ周知方法ができるか、引き続き調査研究していく。
区施設の混雑状況の見える化について
避難施設の混雑状況をオンラインでリアルタイム配信すべきでは。
研究していく。
特別養護老人ホーム等の施設入所者のデジタル面会支援について
施設入所者と家族等との対話の機会を確保する観点から、デジタル面会の支援を検討すべきでは。
各施設で行われている工夫を施設間で共有していく。